



県政活動報告



小泉利治 県政 活動報告

H26/1月~10月



政策

平成25年9月 議会・代表質問

現場第一 庶民の目線 課題解決 暮らしを考える



ごあいさつ

私は「地域の中にこそ、政治の原点がある」を信条に、これまで県民のための県政実現に、ひたすら力を注いでまいりました。

福祉・環境など山積みする課題を乗り越え「住みよい山口」をめざすとともに、21世紀にふさわしい県政、豊かさと希望にあふれた県政、豊かさと希望にあふれた街づくりに今後も邁進してまいります。

常に現場第一



▲畜産業者と意見交換(美祢市)



▲現場確認(美祢市秋芳)



▲川土手の草刈要望現場(美祢市)



▲河川改修現場(秋市)



▲浚渫現場へ直行(長門)



▲池の危険現場へ(上宇部)

② 2014

山口県議会議員 **小泉 利治** 活動報告

小泉県議 決算特別委員会に!



11月5日から8日までの間、山口県議会・決算特別委員会が行われ公明党から小泉利治県議、曾田聡県議が出席し平成24年度の決算について質疑を行いました。県の歳出総額は前年度に比べ、538億円減の6767億7800万円となりました。



「がん対策推進条例」の制定申し入れを【県議会】



山口県議会の公明党と自民党の会派は、「がん対策推進条例」の制定を柳居議長に申し入れました。会派会長の小泉利治県議と石丸典子県議は、「県が進めるがん対策をより実効性のあるものとするため、総合的な対策を県民総ぐるみで推進すべきある。」と訴え、骨子案を提出した。

◀がん条例制定へ向けての柳居議長に対して申し入れを行う（県議会議長室）

地域をサポート【実績】



側溝と道路舗装できました。

カーブミラーが設置されました。



平成26年3月度・定例県議会報告



本会議場で一般質問する小泉県議

3月定例議会は3月4日開会されました。今回は村岡知事にとって初めての予算編成がされた議会でありました。小泉県議は一般質問に立ち、雇用対策など、8項目について質問を行いました。

スモークフリーへの取り組みについて

【小泉県議】

山口県においても受動喫煙防止条例の制定を求める要望書が提出されたが、本県における受動喫煙防止条例の制定について、どのようにお考えか伺う。

【村岡知事】

受動喫煙による健康被害を防ぐため、市町や関係団体等と連携しながら、「たばこ対策ガイドライン」に基づき、たばこの煙のない、いわゆるスモークフリーの環境を広げる取り組みを、積極的に推進して参ります。

健康づくりについて

【小泉県議】

私の地元上宇部校区では、地域を挙げて健康寿命を延ばそうと、「健康かみうべ21」を組織し、やまぐち健康応援団に登録した。やまぐち健康応援団に登録すると、様々なメリットがあり、県民の健康づくりにおいて効果が期待される。そこで、やまぐち健康応援団のこれまでの取り組み状況、効果について伺う。

【村岡知事】

「やまぐち健康応援団」は、県民の健康づくりを支援するため、健康づくりイベントの企画・実施などに取り組む団体、たばこ対策を実施する施設・事業所、ヘルシーメニューを提供する飲食店等を登録する制度として平成18年に創設したものです。

こうした登録団体の主体的な取り組みを通じて、健康を支える社会環境の整備が図られ、栄養バランスのとれた食生活を実践する方の増加や、若年層などの健康づくりに関心の低い層の健康意識の改善など、一定の成果があがっているところでありまして、県としては、引き続き「やまぐち健康応援団」の取り組みを進めてまいります。

雇用対策について

【小泉県議】

私は、雇用対策というのは、働く意欲があるものが安心して就労できるよう長期雇用を図ることが重要であると考えます。

そこで、新たな地域人づくり事業の活用も含め、離職者対策について、どのように取り組まれるか伺う。

【木村商工労働部長】

県としては、今後とも、離職を余儀なくされた方が、一日も早く再就職され、安心して生活できるよう、関係機関との緊密な連携の下、雇用対策に積極的に取り組んでまいります。



山口宇部空港の国際チャーター便について

【小泉県議】

山口宇部空港を発着する双方向の国際チャーター便の運航について引き続き働きかけるなど、など国際チャーター便のさらなる拡大についてどのように取り組まれるのか伺う。

【木村商工労働部長】

国際チャーター便の運航は、国際情勢等の影響を受けやすい側面があるものの、将来の国際定期便の開設も視野に入れ、チャーター便の運航拡大に取り組んでまいります。

障がい者の芸術発掘について

【小泉県議】

障がい者芸術の裾野を広げて優れた才能をのばし、社会参加につなげ、障がい者の芸術を発掘するためにどのように取り組まれるのか、伺う。

【渡邊健康福祉部長】

障がい者芸術文化祭の開催等を通じ、障がい者芸術の裾野の拡大に努めるとともに、その現状と課題を分析・整理し、障がい者の芸術作品の発掘について検討してまいります。



スポーツを通じた地域活性化について

【小泉県議】

スポーツを通じた地域の活性化を進めるためには、6年後の東京五輪をはじめとする国際大会のキャンプ地の誘致を検討することも重要と考えるが、県の所見を伺う。

【藤井総合企画部長】

2020年の東京オリンピックをはじめとする国際大会のキャンプ地の誘致に向けまして、市町と連携しながら具体的な方策を検討してまいります。



地域包括ケアシステムの具体化について

【小泉県議】

国の予算には、地域包括ケアシステムの構築を後押しする予算が盛り込まれている。こうした予算を活用し、地域にあったシステムを築くために、どのように取り組まれるのか、伺う。

【渡邊健康福祉部長】

県としましては、引き続き、市町や医療・介護関係団体等と連携して、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築に向け、積極的に取り組んでまいります。

●上宇部校区での活動(自治会長・コミュニティ副会長) 卒業式に参加



●卒業式で祝辞



県立宇部高校

●スモークキャラバンと合流



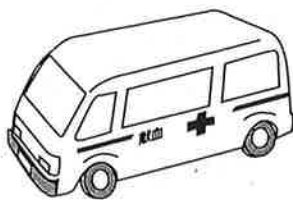
●村岡知事と長州産業を訪問



●中小企業経営者協会に参加



●献血運動の呼びかけ・自ら献血を実施・38 回目です



2014 ④

山口県議会議員 **小泉 利治** 活動報告

●老健施設訪問



●街頭遊説で県政報告



●語る会で県政の近況を報告(宇部市・長門市)



●常に現場へ直行(阿知須ため池・萩市・長門市)



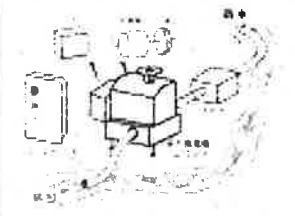
山口市



萩市



長門市



小水力発電

●地域サポーター・各地で多くの要望が実現!!



30キロ規制の設置(居能)



信号機の設置(あすとびあ)



ため池の防護柵設置(上宇部)



竹林の伐採(上宇部山門)

平成26年6月定例県議会開会される!

平成26年6月議会は6月25日開会されました。
 村岡副知事の就任後初めての施策を盛り込んだ
 本年度一般会計補正予算案を審議しました。
 村岡知事は議案説明で所信を述べ、「今後も産業界
 や市町と一体となって、産業戦略を強力に推進する」と
 決意を示しました。
 小泉県議が所属する土木建築委員会において、道路
 の安全総点検について他数点、質問しました。また、来
 年開催の世界スカウトジャンボリーについては、強力に
 推進し、地域活性化を目指してまいります。



県庁公明党控室で執務

路面下の空洞化調査全県下で実施



◀公明党県議団、空洞探査車の前で(県本部前)

土木建築委員会県内視察(山陽小野田市・下関市)



◀山陽小野田湾岸道路現場 ▲下関市西部利水事務所



◀開削作業で空洞発見(宇部市寿町)

人口減少・地域活力維持対策特別委員会

生産年齢人口の流出防止対策や人口減少局面における本県の少子化対策のあり方、将来にわたって地域の活力を維持するための取組方策等についての調査研究です。





▶年金受給者協会の総会
(宇部市文化会館)



▲県議団で小水力発電を視察(萩市阿武町)

●行政視察 (長崎県対馬市役所)



副市長と様々な課題について懇談 県議の同期のメンバーと久保田市長
(長崎県対馬市役所)

●行政視察 (島根県松江市役所)



公明市議団と行政視察・教育、福祉行政を学びました。
(島根県松江市)

●上宇部校区での役職 (山門自治会長・上宇部コミュニティ副会長・上宇部社協理事・健康かみうべ 21 実行委員長)



6回目の「健康かみうべ 21」役員会
(上宇部ふれあいセンター)



地元自治会の役員会に積極的に参加



校区スポーツ大会にて開会あいさつ
(上宇部小学校)



上宇部校区の研修行事として、40名が参加し、福岡市の防災センターを訪れ、消火や地震の貴重な体験をしました。
(福岡市防災センター)



「健康かみうべ 21」設立総会で挨拶



コミュニティ推進大会
(上宇部市民センター)

建設山口の定期総会に参加



榎屋議員と参加激励(宇部市国際ホテル)

社会活動・老人ホーム訪問



ボランティア麦の会の皆さん 障がい者就労施設に
コピー機を寄付(美祢市)



地元の高齢者施設の夏祭り
において挨拶(宇部市山門)

2014 ⑥

山口県議会議員 **小泉 利治** 活動報告

●地域サポート[市民相談受理・現場へ直行]



渋滞解消について相談受理
(山口市)



道路の拡幅について相談受理
(宇部市上宇部山門)



産廃対策について現場確認
(宇部市妻崎開作)



雨水ポンプの改修完了
(宇部市浜田町)



交通規制について相談受理
(宇部市際波)



道路の陥没改修について相談受理
(宇部市山門)

平成26年9月度・定例県議会報告

3月定例議会は9月24日開会され10月10日に閉会されました。
今回は、小泉県議は一般質問に立ち、健康対策など、8項目について質問を行いました。

予防保全的な治水対策の推進について

【小泉県議】

浚渫や治水施設の老朽化対策等の適切な維持管理によって治水機能の保持をしっかりと図っていくべきと考える。

そこで、今後、どのように予防保全的な治水対策を進めていくのか伺う。

【村岡知事】

まず、その進め方についてです。

治水機能の向上と保持に必要な予算を可能な限り確保し、河川の点検結果や背後の土地利用等の緊急度に応じて、改修はもとより浚渫等も適時・適切に実施することにより、予防保全的な治水対策を効率的・効果的に進めてまいります。



受診率の向上について

【小泉県議】

山口県の受診率は全国44位の38.3%と、政府の目標に達するには2倍に増やさなければならないが、受診率向上のためにどのように取り組まれるか伺う。

【村岡知事】

医療保険者に対する受診率向上のための研修を行うとともに、県民への効果的な普及啓発や、受診率の低い国民健康保険に対する指導強化などのさらなる方策について検討してまいります。



健康寿命の延伸対策について

【小泉県議】

手軽に相談でき、かつ費用対効果の高いクイットラインの整備は必要と思う。本県においてクイットラインの導入についてどのようにお考えか伺う。

【村岡知事】

たばこ相談員を養成する研修等を通じて、相談体制の充実に努めてまいります。

健康づくり条例について

【小泉県議】

健康寿命に対して市町と連携し全県民で取り組む体制のためには必要である。健康づくり条例に対してどのようなお考えか伺う。

【村岡知事】

すべての県民が健康で生き生きと生活できる活力ある社会を実現するため、今後とも、県民一人ひとりの健康寿命延伸に向けた諸施策の推進に積極的に取り組んでまいります。



ロコモ対策について

【小泉県議】

ロコモについて積極的に啓発し、予防する運動を進めていくべきと考えるが、県としての取組について伺う。

【村岡知事】

今後とも、ロコモティブシンドロームの認知度の向上と県民自らのセルフチェックや運動を促す予防対策の推進に取り組んでまいります。

林業振興について

【小泉県議】

林づくり県民税の今後の方向性と、豊かで多様な森林の恵みを生かした循環型社会の形成に向けて、産業としての林業振興に今後どのように取り組むのか伺う。

【村岡知事】

県としましては、今後とも、市町や関係団体とも連携しながら、健全で多様な森林づくりを進めるとともに、川上から川下までが一体となって、森林所有者の収入にも繋がるよう、林業の成長産業化に向けた取組を進めてまいります。



畜産振興について

【小泉県議】

効率的で生産性の高い畜産業の育成や飼料自給率の向上など、本県の畜産業の振興のため、今後、どのように取り組むのか、お尋ねする。

【村岡知事】

今後とも、市町や関係団体等と密接に連携し、国の経営安定対策事業をはじめとする諸施策も活用しながら、本県畜産業の振興に積極的に取り組んでまいります。



自転車のルールやマナーの浸透について

【小泉県議】

自転車免許証を交付することによって、児童に自転車のルールやマナーを身につけさせることは有効な手段と思うが、県警察としては、改正道路交通法も踏まえ、児童や生徒に対し、どのようにして自転車のルールやマナーの浸透を図られるのか伺う。

【村岡知事】

障害者芸術文化祭の開催等を通じ県警察としましては、今後とも、関係機関と連携を図り、自転車の交通事故防止のための取組を進めてまいります。



ふるさと納税について

【小泉県議】

私は、こうした制度を積極的に進めることにより、第2のふるさととして郷土愛が生まれターンのきっかけにもなるのではないかと思う。

そこで、ふるさと納税がより一層積極的に活用されるためにどのように取り組まれているのか伺う。

【村岡知事】

今後とも様々な機会を捉え、「ふるさと納税」の呼びかけを行うとともに、本県の魅力や最新のトピックスを発信するなど、一人でも多くの方々に、「ふるさと納税」を活用していただけるよう、一層のPR等に努めてまいります。

●地域で活躍 【上宇部校区】



コミュニティ理事会



上宇部校区自治会長会



夏祭り実行委員会とごみ処理



30年ぶりのラジオ体操



物故者慰霊祭で挨拶



●土木建築委員会【県外視察＝釧路湿地・夕張ダム】



夕張ダム工事現場



釧路湿原を視察



釧路港湾整備事業を研鑽



●県内視察【岩国基地】



●現場第一主義【萩原市住・上宇部・秋芳町・阿知須町・阿東町】



要望現場確認中(萩原)



樹屋議員と介護施設訪問



阿東町災害現場



阿知須町



酪農家と懇談(秋芳)

●街頭遊説



雨の中での街頭遊説



●敬老会



上宇部敬老会・役員として参加



2014 ⑧

山口県議会議員 小泉 利治 活動報告

●議員活動



島根県立美術館(グラントウ)



対馬市役所で健康づくりを学ぶ



NHKの担当者に陳情(東京樹屋事務所)



議員会館で県議団研鑽中(東京衆議院会館)



劇作家・苑場凌さんと(東京)

●がん条例

公明党新聞 2014年(平成26年)11月2日(日曜日) 4頁



山口県で 10月1日から がん対策条例が施行... がん対策条例の施行を前に、山口県議会議員の小泉利治が、山口県民会館で記者会見を開き、がん対策条例の施行について、記者に説明した。

がん対策条例の施行を前に、山口県議会議員の小泉利治が、山口県民会館で記者会見を開き、がん対策条例の施行について、記者に説明した。がん対策条例は、がんの予防、早期発見、治療、緩和ケアの充実を図ることを目的として制定された。



●地域活動

◆山口・宇部市

危険な三差路にカーブミラー

宇部市山門の三差路にこのほど、カーブミラーが設置され、周辺住民から「安心して通行できるようになった」と喜ばれている【写真】。この三差路の一角は、民家



の塀で視界が遮られているため見通しが悪く、車や自転車が接触しそうになることが度々あった。近くの高校の生徒たちも利用するため、地元住民は対策を求めていた。こうした中、公明党の小泉利治県議は今年7月、市道路河川管理課に改善策としてカーブミラーの設置を要望し、取り付けられた。老朽化により、でこぼこだった三差路の路面も舗装された。

小泉 利治のプロフィール

●議員経歴

- 宇部市議会議員経歴
・1期 平成3年5月1日～平成7年4月30日
・2期 平成7年5月1日～平成11年4月1日
山口県議会議員経歴
・1期 平成11年4月30日～平成15年4月29日
・2期 平成15年4月30日～平成19年4月29日
・3期 平成19年4月30日～平成23年4月29日
・4期 平成23年4月30日～現在
山口県議会委員会経歴
●常任委員会
・農林水産委員会委員(平成11年5月12日～平成13年5月14日)
・商工労働委員会委員(平成13年5月14日～平成15年4月29日)
・商工労働委員会委員(平成15年5月9日～平成17年5月13日)
・商工労働委員会委員(平成17年5月13日～平成19年4月29日)
・文教警察委員会委員(平成19年5月10日～平成19年5月13日)
・総務政策委員会委員長(同委員)(平成21年5月13日～平成23年4月29日)
・総務政策委員会委員(同委員)(平成23年5月12日～平成23年5月14日)
・総務政策委員会委員(同委員)(平成25年4月1日～平成25年5月14日)
・土木建築委員会委員(同委員)(平成25年5月14日～現在)

- プロフィール
◎昭和26年11月12日生まれ(宇部生まれ宇部育ち)
◎恩田小、常盤中、大分工業高校、近畿大学短期大学部卒業)
◎平成3年 会社員から宇部市議会議員初当選(以来2期務める)
◎平成11年 山口県議会議員初当選(現在4期目)
◎現在/山口県議会元総務政策委員長 公明党山口県本部副代表
◎家族/妻、1男2女、母親の6人家族

- 連絡先
■事務所名 山口県議会議員小泉利治事務所
E-mail: koizumi-ube@herb.ocn.ne.jp
■所在地 〒755-0073 山口県宇部市中尾1丁目7番8号
■電話番号 0836-37-6023
■FAX番号 0836-37-6023
■代表者 小泉 利治

- ◆特別委員会等
・豊かな社会づくり対策調査特別委員会委員(平成11年7月9日～平成13年2月27日)
・決算特別委員会委員(平成11年12月17日～平成12年2月29日)
・企業会計決算特別委員会委員(平成12年9月22日～平成12年12月15日)
・やまぐち子供未来調査特別委員会委員(平成13年6月29日～平成15年2月26日)
・企業会計決算特別委員会委員(平成13年10月19日～平成13年12月14日)
・企業会計決算特別委員会委員(平成14年10月4日～平成14年12月19日)
・企業会計決算特別委員会委員長(同委員)(平成15年10月10日～平成15年12月12日)
・暮らしの安心・安全強化対策特別委員会委員(平成19年7月6日～平成20年12月19日)
・決算特別委員会委員(平成20年10月10日～平成20年12月19日)
・企業会計決算特別委員会委員(平成21年10月9日～平成21年12月18日)
・決算特別委員会委員(平成22年10月8日～平成22年12月17日)
・人口減少・地域活力維持対策特別委員会委員(平成25年10月4日～現在)
・決算特別委員会委員(平成25年10月4日～現在)

- ―― 附属機関等の役員経歴(山口県議会) ――
・山口県流通情報協議会顧問(平成11年6月12日～平成13年4月30日)
・山口県流通情報協議会顧問(平成13年5月1日～平成13年6月11日)
・山口県漁業被害救済基金理事(平成11年9月16日～平成13年5月31日)
・山口県企業立地促進補助金審査会委員(平成13年7月1日～平成13年6月30日)
・山口県企業立地促進補助金審査会委員(平成13年7月1日～平成15年6月30日)
・山口県観光審議会委員(平成15年5月26日～平成19年4月29日)
・山口県地方港湾審議会委員(平成17年5月26日～平成19年4月29日)
・山口県地方港湾審議会委員(平成19年5月25日～平成21年5月13日)
・財団法人山口県振興財団(平成21年5月25日～平成23年4月29日)
・おいでませ山口国体・山口大会実行委員会常任委員(平成21年5月25日～平成23年4月29日)
・財団法人山口県振興財団(平成23年5月25日～平成24年5月25日)

② 2014

山口県議会議員 **小泉 利治** 活動報告

小泉県議 決算特別委員会に!



11月5日から8日までの間、山口県議会・決算特別委員会が行われ公明党から小泉利治県議、曾田聡県議が出席し平成24年度の決算について質疑を行いました。県の歳出総額は前年度に比べ、538億円減の6767億7800万円となりました。

「がん対策推進条例」の制定申し入れを(県議会)



山口県議会の公明党と自民党の会派は、「がん対策推進条例」の制定を柳居議長に申し入れました。会派会長の小泉利治県議と石丸典子県議は、「県が進めるがん対策をより実効性のあるものとするため、総合的な対策を県民総ぐるみで推進すべきある。」と訴え、骨子案を提出した。

◀がん条例制定へ向けての柳居議長に対して申し入れを行う(県議会議長室)

地域をサポート【実績】

カープミラーが設置されました。
山口県産業技術センター
片倉公園
あすとぴあ
西枝波
COCOLAND山
信号機が設置されました。
第二丁字路に信号機が設置されます。

平成26年3月度・定例県議会報告



本会議場で一般質問する小泉県議

3月定例議会は3月4日開会されました。今回は村岡知事にとって初めての予算編成がされた議会であります。小泉県議は一般質問に立ち、雇用対策など、8項目について質問を行いました。

スモークフリーへの取り組みについて

【小泉県議】

山口県においても受動喫煙防止条例の制定を求める要望書が提出されたが、本県における受動喫煙防止条例の制定について、どのようにお考えか伺う。

【村岡知事】

受動喫煙による健康被害を防ぐため、市町や関係団体等と連携しながら、「たばこ対策ガイドライン」に基づき、たばこの煙のない、いわゆるスモークフリーの環境を広げる取り組みを、積極的に推進して参ります。

健康づくりについて

【小泉県議】

私の地元上宇部校区では、地域を挙げて健康寿命を延ばそうと、「健康かみうべ21」を組織し、やまぐち健康応援団に登録した。やまぐち健康応援団に登録すると、様々なメリットがあり、県民の健康づくりにおいて効果が期待される。そこで、やまぐち健康応援団のこれまでの取り組み状況、効果について伺う。

【村岡知事】

「やまぐち健康応援団」は、県民の健康づくりを支援するため、健康づくりイベントの企画・実施などに取り組む団体、たばこ対策を実施する施設・事業所、ヘルシーメニューを提供する飲食店等を登録する制度として平成18年に創設したものです。

こうした登録団体の主体的な取り組みを通じて、健康を支える社会環境の整備が図られ、栄養バランスのとれた食生活を実践する方の増加や、若年層などの健康づくりに関心の低い層の健康意識の改善など、一定の成果があがっているところでありまして、県としては、引き続き「やまぐち健康応援団」の取り組みを進めてまいります。

雇用対策について

【小泉県議】

私は、雇用対策というのは、働く意欲があるものが安心して就労できるよう長期雇用を図ることが重要であると考えている。

そこで、新たな地域人づくり事業の活用も含め、離職者対策について、どのように取り組まれるか伺う。

【木村商工労働部長】

県としては、今後とも、離職を余儀なくされた方が、一日も早く再就職され、安心して生活できるよう、関係機関との緊密な連携の下、雇用対策に積極的に取り組んでまいります。



山口宇部空港の国際チャーター便について

【小泉県議】

山口宇部空港を発着する双方向の国際チャーター便の運航について引き続き働きかけるなど、国際チャーター便のさらなる拡大についてどのように取り組まれるのか伺う。

【木村商工労働部長】

国際チャーター便の運航は、国際情勢等の影響を受けやすい側面があるものの、将来の国際定期便の開設も視野に入れ、チャーター便の運航拡大に取り組んでまいります。

障がい者の芸術発掘について

【小泉県議】

障がい者芸術の裾野を広げて優れた才能をのばし、社会参加につなげ、障がい者の芸術を発掘するためにどのように取り組まれるのか、伺う。

【渡邊健康福祉部長】

障がい者芸術文化祭の開催等を通じ、障がい者芸術の裾野の拡大に努めるとともに、その現状と課題を分析・整理し、障がい者の芸術作品の発掘について検討してまいります。



スポーツを通じた地域活性化について

【小泉県議】

スポーツを通じた地域の活性化を進めるためには、6年後の東京五輪をはじめとする国際大会のキャンプ地の誘致を検討することも重要と考えるが、県の所見を伺う。

【藤井総合企画部長】

2020年の東京オリンピックをはじめとする国際大会のキャンプ地の誘致に向けまして、市町と連携しながら具体的な方策を検討してまいります。



地域包括ケアシステムの具体化について

【小泉県議】

国の予算には、地域包括ケアシステムの構築を後押しする予算が盛り込まれている。こうした予算を活用し、地域にあったシステムを築くために、どのように取り組まれるのか、伺う。

【渡邊健康福祉部長】

県としては、引き続き、市町や医療・介護関係団体等と連携して、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築に向け、積極的に取り組んでまいります。

● 上宇部校区での活動(自治会長・コミュニティ副会長)



● 献血運動の呼びかけ・自ら献血を実施・38 回目です



● 老健施設訪問



● 街頭遊説で県政報告



● 卒業式で祝辞



県立宇部高校



県立宇部支援学校



● スモークキャラバンと合流



● 村岡知事と長州産業を訪問



● 語る会で県政の近況を報告(宇部市・長門市)



2014 ④

山口県議会議員 **小泉 利治** 活動報告

●常に現場へ直行(阿知須ため池・萩市・長門市)



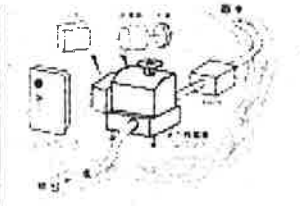
山口市



萩市



長門市



小水力発電

●地域サポーター・各地で多くの要望が実現!!



30キロ規制の設置(居能)



信号機の設置(あすとびあ)



ため池の防護柵設置(上宇部)



竹林の伐採(上宇部山門)

平成26年6月定例県議会開会される!

平成26年6月議会は6月25日開会されました。
 村岡副知事の就任後初めての施策を盛り込んだ本年度一般会計補正予算案を審議しました。
 村岡知事は議案説明で所信を述べ、「今後も産業界や市町と一体となって、産業戦略を強力に推進する」と決意を示しました。
 小泉県議が所属する土木建築委員会において、道路の安全総点検について他数点、質問しました。また、来年開催の世界スカウトジャンボリーについては、強力に推進し、地域活性化を目指してまいります。



県庁公明党控室で執務

路面下の空洞化調査全県下で実施



◀公明党県議団、空洞探査車の前で(県本部前)



◀開削作業で空洞発見(宇部市寿町)

土木建築委員会県内視察(山陽小野田市・下関市)



◀山陽小野田湾岸道路現場



▲下関市西部利水事務所

人口減少・地域活力維持対策特別委員会

生産年齢人口の流出防止対策や人口減少局面における本県の少子化対策のあり方、将来にわたって地域の活力を維持するための取組方策等についての調査研究です。



書道展にて激励の挨拶(阿知須サンパーク)



▶年金受給者協会の総会(宇部市文化会館)



▲県議団で小水力発電を視察(萩市阿武町)

●行政視察（長崎県対馬市役所）



副市長と様々な課題について懇談 県議の同期のメンバーと久保田市長（長崎県対馬市役所）

●行政視察（島根県松江市役所）



公明市議団と行政視察・教育、福祉行政を学びました。（島根県松江市）

●上宇部校区での役職（山門自治会長・上宇部コミュニティ副会長・上宇部社協理事・健康かみうべ21実行委員長）



6回目の「健康かみうべ21」役員会（上宇部ふれあいセンター）



地元自治会の役員会に積極的に参加



校区スポーツ大会にて開会あいさつ（上宇部小学校）

上宇部校区の研修行事として、40名が参加し、福岡市の防災センターを訪れ、消火や地震の貴重な体験をしました。（福岡市防災センター）



「健康かみうべ21」設立総会で挨拶



コミュニティ推進大会（上宇部市民センター）

建設山口の定期総会に参加



榎屋議員と参加激励（宇部市国際ホテル）

社会活動・老人ホーム訪問



ボランティア会の皆さん、障がい者就労施設にコピー機を寄付（美祿市）



地元の高齢者施設の夏祭りにおいて挨拶（宇部市山門）

●地域サポート（市民相談受理・現場へ直行）



渋滞解消について相談受理（山口市）



道路の拡幅について相談受理（宇部市上宇部山門）



産廃対策について現場確認（宇部市妻崎開作）



雨水ポンプの改修完了（宇部市浜田町）



交通規制について相談受理（宇部市際波）



道路の陥没改修について相談受理（宇部市山門）

平成26年9月度・定例県議会報告

3月定例議会は9月24日開会され10月10日に閉会されました。
今回は、小泉県議は一般質問に立ち、健康対策など、8項目について質問を行いました。

予防保全的な治水対策の推進について

【小泉県議】

浚渫や治水施設の老朽化対策等の適切な維持管理によって治水機能の保持をしっかりと図っていくべきと考える。

そこで、今後、どのように予防保全的な治水対策を進めていくのか伺う。

【村岡知事】

まず、その進め方についてです。

治水機能の向上と保持に必要な予算を可能な限り確保し、河川の点検結果や背後の土地利用等の緊急度に応じて、改修はもとより浚渫等も適時・適切に実施することにより、予防保全的な治水対策を効率的・効果的に進めてまいります。



受診率の向上について

【小泉県議】

山口県の受診率は全国44位の38.3%と、政府の目標に達するには2倍に増やさなければならないが、受診率向上のためにどのように取り組まれるか伺う。

【村岡知事】

医療保険者に対する受診率向上のための研修を行うとともに、県民への効果的な普及啓発や、受診率の低い国民健康保険に対する指導強化などのさらなる方策について検討してまいります。



健康寿命の延伸対策について

【小泉県議】

手軽に相談でき、かつ費用対効果の高いクイットラインの整備は必要と思う。本県においてクイットラインの導入についてどのようにお考えか伺う。

【村岡知事】

たばこ相談員を養成する研修等を通じて、相談体制の充実に努めてまいります。

健康づくり条例について

【小泉県議】

健康寿命に対して市町と連携し全県民で取り組む体制のためには必要である。健康づくり条例に対してどのようなお考えか伺う。

【村岡知事】

すべての県民が健康で生き生きと生活できる活力ある社会を実現するため、今後とも、県民一人ひとりの健康寿命延伸に向けた諸施策の推進に積極的に取り組んでまいります。



ロコモ対策について

【小泉県議】

ロコモについて積極的に啓発し、予防する運動を進めていくべきと考えるが、県としての取組について伺う。

【村岡知事】

今後とも、ロコモティブシンドロームの認知度の向上と県民自らのセルフチェックや運動を促す予防対策の推進に取り組んでまいります。

林業振興について

【小泉県議】

林づくり県民税の今後の方向性と、豊かで多様な森林の恵みを生かした循環型社会の形成に向けて、産業としての林業振興に今後どのように取り組むのか伺う。

【村岡知事】

県としましては、今後とも、市町や関係団体とも連携しながら、健全で多様な森林づくりを進めるとともに、川上から川下までが一体となって、森林所有者の収入にも繋がるよう、林業の成長産業化に向けた取組を進めてまいります。



畜産振興について

【小泉県議】

効率的で生産性の高い畜産業の育成や飼料自給率の向上など、本県の畜産業の振興のため、今後、どのように取り組むのか、お尋ねする。

【村岡知事】

今後とも、市町や関係団体等と密接に連携し、国の経営安定対策事業をはじめとする諸施策も活用しながら、本県畜産業の振興に積極的に取り組んでまいります。



自転車のルールやマナーの浸透について

【小泉県議】

自転車免許証を交付することによって、児童に自転車のルールやマナーを身につけさせることは有効な手段と思うが、県警察としては、改正道路交通法も踏まえ、児童や生徒に対し、どのようにして自転車のルールやマナーの浸透を図られるのか伺う。

【村岡知事】

障害者芸術文化祭の開催等を通じ県警察としましては、今後とも、関係機関と連携を図り、自転車の交通事故防止のための取組を進めてまいります。



ふるさと納税について

【小泉県議】

私は、こうした制度を積極的に進めることにより、第2のふるさととして郷土愛が生まれターンのきっかけにもなるのではないかと思います。

そこで、ふるさと納税がより一層積極的に活用されるためにどのように取り組まれているのか伺う。

【村岡知事】

今後とも様々な機会を捉え、「ふるさと納税」の呼びかけを行うとともに、本県の魅力や最新のトピックスを発信するなど、一人でも多くの方々に、「ふるさと納税」を活用していただけるよう、一層のPR等に努めてまいります。

2014 ⑧

山口県議会議員 **小泉 利治** 活動報告

●地域の課題・問題点を解決しました



防犯灯の設置



カーブミラーの設置



宇部港湾整備



側溝整備

●太田国交大臣を囲んでの政策・意見交換



宇部市長より太田国交大臣へ要望書を提出



太田国交大臣と囲む会のメンバー

●危険な信号機の支柱を指摘

神原町の信号機の支柱が錆び、朽ちかけている状態を県警に指摘しました。すぐ対処しますとのことでした。



錆びている支柱



信号機の支柱

●各種会合であいさつ



歌の祭典で挨拶



行政書士会で挨拶

●小野田湾岸道路の開通式



榎屋県代表と村岡知事



防災訓練に積極的参加、防災グッズを展示



真綿川上流に突然白濁した水、保健所へ通報



花づくり優良団体表彰式で(県庁)

●地域活動



地元自治会長として地域貢献



校区の文化祭・コミュニティの副会長



地域の清掃活動に参加

小泉 利治のプロフィール

●議員経歴●

—— 宇部市議会議員歴 ——

- ・1期 平成3年5月1日～平成7年4月30日
- ・2期 平成7年5月1日～平成11年4月1日

—— 山口県議会議員歴 ——

- ・1期 平成11年4月30日～平成15年4月29日
- ・2期 平成15年4月30日～平成19年4月29日
- ・3期 平成19年4月30日～平成23年4月29日
- ・4期 平成23年4月30日～現在

●連絡先●

- 事務所名 山口県議会議員小泉利治事務所
E-mail: koizumi-ube@herb.ocn.ne.jp
- 所在地 〒755-0073 山口県宇部市中尾1丁目7番8号
- 電話番号 0836-37-6023
- FAX番号 0836-37-6023
- 代表者 小泉 利治

小泉利治 県政 活動報告

H27/7月~12月



山口県議会議長（畑原基成）

ごあいさつ

新年あけましておめでとうござ
います。
本年も皆様やご家族にとりまし
て、幸多い年となりますよう心か
ら願っています。
昨年は統一地方選挙が実施さ
れ、皆様にはご支援を賜り、五期
目の県政に送っていただき、心か
ら感謝申し上げます。
今年も県政発展のため、私自身
全力投球致します。
そして、二〇一六年は景気回復
を実感できる年にし、物価上昇に
賃金アップが追い付いていかない
現状を打開し、景気回復の流れを
私たちの地元、中小・零細企業、
家計にまで広げなければなりません。
本年も、走りに走り、地域にしっ
かりと根を張り、政策実現目指し
て頑張つてまいります。
本年もよろしくお願いたします。
山口県議会議員 小泉利治

「制す」で、さ
よ規ま告て、さ
にはい報しえ
法等て動まか
状つ活ちま
挙賀な政も挨
選年と県をご
職の象「号の
公員対で年
議のの新年
せ



本会議



議員研修会



山口宇部部の国際化
鹿兒島空港に学ぶ

山口宇部部の国際化
鹿兒島空港に学ぶ
山口宇部部の国際化
鹿兒島空港に学ぶ
山口宇部部の国際化
鹿兒島空港に学ぶ

山口宇部部の国際化
鹿兒島空港に学ぶ
山口宇部部の国際化
鹿兒島空港に学ぶ

県、市町連携し促進 企業の本社機能移転 目標件数も定め

企業の本社機能移転 目標件数も定め

健康マイレージ開始

新型交付金は継続を



1 健康長寿への取組について



(1) 健康マイレージ制度について

【小泉県議】

高齢化が進行する中で、健康でいきいきと暮らせる期間である健康寿命を伸ばしていくことが大切だという視点から、昨今、健康寿命が注目されている。

私は、知事の今後目指すべき県づくり日本一として「健康長寿日本一」の県づくりを追加すべきと考えます。

そこで、健康長寿日本一の達成のため3点について伺う。

健康づくりは、多くの人が健康づくりに関心を持ち、長く継続し

て取り組むことが何より重要である。

健康づくりに無関心な方々が、生活改善に関心を持ち、さらにその取り組みの継続を促す仕掛けの一つとして「健康マイレージ制度」や「健康ポイント制度」は有効であると考えます。

健康長寿を実現するため、本県も「健康マイレージ」に取り組むと聞いているが、若者と健康無関心層を取り込み健康づくりの取組を継続させる施策として、これを積極的に推進していくべきと考えますが見を伺う。

健康マイレージ開始

【村岡知事】

健康長寿への取組についての3点のお尋ねのうち、まず、健康マイレージ制度についてお答えします。

今年度から、市町・医療保険者と協働して、「やまぐち健康マイレージ事業」に取り組み、この事業に理解が得られた企業等を協力店として登録を進めることとしており、10月以降、準備が整った8市町・2保険者及び122の協力店と連携して事業をスタート

することとしています。

今後は、実施市町・保険者や協力店の拡大により、参加者にとつて、より参加しやすく、魅力的な制度とするともに、各種広報媒体等を活用しながら一層の普及に努め、この制度が県民に浸透し、生活習慣の改善や健康づくりの推進につながるよう、市町や企業等と連携しながら、制度の充実に努めてまいります。

(2) 受動喫煙防止対策について

【小泉県議】

健康寿命には、有効な受動喫煙防止対策が欠かせない。

多くの施設で禁煙・分煙が進んだがもう一步進めるため、県民や従業員の方々を受動喫煙から守る環境づくりに積極的に取り組んでいる団体等を「受動喫煙防止推進団体」として認証することにより、受動喫煙防止の推進を図る、受動喫煙防止推進団体認証制度も効果があると思う。

また、中小企業事業主による受動喫煙防止のための施設設備の整備に対し助成制度などの周知徹底も必要である。

今後はさらなる受動喫煙対策に、どのように取り組まれるのか伺う。



「受動喫煙防止」に向けた健康づくりを薦める

【村岡知事】

受動喫煙防止対策についてです。多くの方が利用する施設の種別毎に、原則として、施設内禁煙、敷地内禁煙などの基準を設けるとともに、屋外に喫煙場所を設置する場合には、出入口等から一定の距離を離す、いわゆる「10mルール」を定め、施設管理者の取組を促してきたところです。

また、受動喫煙防止対策をはじめ、健康づくりに主体的に取り組んでいる民間の事業所・団体等を「やまぐち健康応援団」として認証・登録し、公表するなどの取組を進めているところです。

特に、今年度は、大人に比べて健康被害を受けやすい子どもの受動喫煙の機会を減らすため、新たに作成したリーフレットを活用して、幼稚園や保育所に通う子どもの保護者への普及啓発を図っています。

今後は、県としても、お示しの国が実施する助成金制度の普及啓発を進めるとともに、受動喫煙防止に取り組む飲食店・事業所の拡大や、禁煙週間やイベントを活用した普及啓発に努めるなど、受動喫煙防止に向けた環境づくりを進めてまいります。



(3) 減塩対策について

【小泉県議】

県民の健康寿命の延伸に向けて、食生活の中でも減塩対策は重要である。

県民の食塩摂取量は国の示す摂取量をオーバーしているのが現状である。

食生活で適正な食塩摂取量とすることは大変重要な課題であり、減塩について正しい知識の普及を図る必要がある。

県民が日頃の食塩摂取量を把握し必要性を理解できたなら、減塩を進めることも可能となり、生活習慣病を予防でき、医療費の抑制にもつながると思う。

県は今月から「減塩プロジェクト事業」を開始したと聞かすが、今後、減塩対策にどのように取り組むのか伺う。

減塩商品の普及促進を図る

【村岡知事】

減塩対策についてです。

事業の実施に当たっては、県民が、減塩の必要性を理解した

上で、減塩に取り組んでもらうことが大切であることから、まず県民が主体的に取り組む動機づけとして9月7日にキックオフイベントを開催し、減塩に対する機運の醸成を図るとともに、リーフレットや県ホームページでのPRにより、減塩の必要性や取組のポイントなどについて普及啓発に努めているところです。

また、企業や団体なども含め、社会全体で減塩対策に取り組むことが重要であることから、減塩弁当の開発・販売を進めるスーパー・コンビニや、減塩商品の開発に取り組む企業等を減塩ライフ応援サポーターとして登録し、県ホームページで公表しています。

今後は、応援サポーターの拡大や、小売店等での減塩コーナーの設置による減塩商品の普及促進を図るとともに、栄養士会や食生活改善推進協議会等との連携のもとに、飲食店における減塩メニュー開発支援や、家庭での減塩レシピ・アイデアの普及など、県民に減塩習慣が定着するための取組を進めてまいります。

県としては、今後とも、このような取組を通じて、日常生活が制限されることなく健康でいきいきと生活できる健康寿命の延伸に努めてまいります。



2 共助社会づくりの推進について

【小泉県議】

内閣府の共助社会づくり懇談会では、人口減少・超高齢化による経済状況の悪化や地域社会の衰退等、地域社会が抱える数多くの構造的な諸課題を克服するための処方箋の一つとして、「共助社会づくり」を進めることを提言している。

従来のような行政中心の取組だけではなく、地域住民や企業など様々な地域社会の担い手全員が主体的に参加して、共に助け合う「共助社会」を作り上げていく必要があると思う。

「やまぐち社会貢献活動支援ネット」を開設

【村岡知事】

共助社会づくりの推進についてのお尋ねにお答えします。

本県では、「チャレンジプラン」に、こうした「共助社会づくり」を担う県民活動を、地域づくりの推進力として位置づけ、その活動の活発化を図るとともに、多様な主体の参加に向け取組を進めているところです。

また、県民活動への参加を促進するため、県民活動支援センターにおいて、活動団体の情報提供を行うとともに、本年11月には、定年退職者をはじめ参加意欲のある方々と活動団体とのマッチングを、インターネットを通じて行う「やまぐち社会貢献活動支援ネット」を開設いたします。

共助の取組の主体とな

る団体は、財政基盤や人材、情報など、それぞれに強みと弱みがあり、県からの支援も必要になる。また、社会貢献活動への参加意欲はあるものの、参加手段や具体的な取組がわからないといった方も多くいる。

そこで、県として共助社会づくりに対してどのような考えをお持ちなのか。また、多様な主体による取組の推進に向け、今後どのように取り組まれるのかお伺いする。

さらに、企業の社会貢献活動を促進するため、本年度から先駆的・地域性のある優れた活動を行う企業を広く顕彰することとしています。

こうした中、それぞれの地域が抱える課題を解決するためには、住民に身近な市町の積極的な関与が不可欠であることから、市町の相談機能を向上させるため、研修の充実を図るとともに、支援センターが未設置の市町に対しては、設置に向けた働きかけを行ってまいります。

県としては、今後とも、市町や関係団体等と連携しながら、多様な主体による県民活動を一層促進することにより、活力ある地域づくりに努めてまいります。

3 建設業における担い手不足対策について

【小泉県議】

建設業はインフラの整備、災害時の初動対応や復旧・復興などに大きい役割を果たしているところであるが、今後とも建設業が健全な発展を続けていくためには建設業で働く若者を増やし、しっかりと技術・技能が継承されていくことが大変重要である。

また、女性が活躍できる建設業への取組みも必要である。

国と建設業5団体は「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を策定し、女性技術者・技能者10万人から20万人に増やす

という目標を設定している。

そこで2点お尋ねする。

①まず、本県における建設業の担い手不足についてどのように認識され、どのように対応されるのか。

②次に、本県においても女性が建設業界で活躍するための支援をすべきと考えるが、その取組みについてお伺いする。



女性労働者の人材確保・育成に取り組む

【村岡知事】

建設業における担い手不足対策についての2点のお尋ねにお答えします。

①まず、担い手不足に関する認識と対応についてのお尋ねです。

お示しのように、建設業は、県民生活に密着した社会資本の整備や自然災害発生時の応急対策・復旧対策における中核的な存在として、重要な役割を果たしています。

県では、「チャレンジプラン」に「将来的にも地域を支え得る足

腰の強い建設産業の構築」を掲げ、総合的な人材の確保・育成の支援に取り組むこととしています。

具体的には、企業に対する社会保険の加入促進などによる就労環境の改善、高校・大学への出張セミナー、高校生等を対象に行う現場見学会などによる建設産業の魅力発信、合同企業説明会等による人材の確保・育成などの取組みを、産学官からなる「担い手確保・育成協議会」を中心に推進してまいります。

②次に、女性が建設業界で活躍するための支援についてのお尋

ねです。

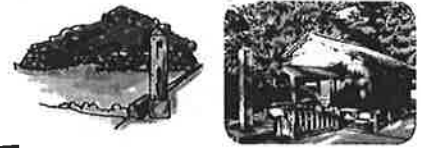
建設産業における女性の活躍支援は、だれもが働きやすい現場・業界づくりにつながり、担い手の確保・育成に資するものと考えています。このため、県では、国の事業を活用し、関係団体で構成する「やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク」を構築したところです。

このネットワークにより、女性技術者・技能者の意見交換会や

会社訪問で得た現場の意見、先進事例を、企業等にメールマガジンで発信し、職場環境の改善を促すなど、建設産業における女性の活躍支援に努めてまいります。

県としては、建設産業が、将来にわたりその役割を果たしていくことができるよう、関係団体と連携・協力しながら、担い手となる若年・女性労働者の人材確保・育成に、今後とも積極的に取り組んでまいります。

4 観光の振興について



(1) ジオパーク・萩世界遺産を核とした観光振興について

【小泉県議】

今年9月にMine秋吉台地域は日本ジオパークに設定された。地域にある秋吉台や長登銅山跡、大嶺炭田など、地球の活動がもたらした様々な恵みを体感することができるすばらしい地域資源を生かし、地域活性化につなげていくべきと考える。

また、萩市においては、萩の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産」について、世界遺産登録が決定した。

こうした、ジオパーク認定や世界遺産登録をどのように観光振興に活用していくかと考えているのか伺う。

産業観光ツアーの拡大を図る

【村岡知事】

認知度を向上させるため、世界遺産の登録を受けて、県内2空港への横断幕等の掲出や、新幹線駅、高速道路サービスエリアなどの観光案内看板の更新を行うとともに、ジオパークについても、県庁舎への説明コーナーの設置等に取り組んだところです。

更には、国内外の観光情報発信会における知事のプレゼンテーションや、県観光連盟ウェブサイトでの情報提供など、積極的なPRに努めています。

また、観光資源としての充実については、この度の世界遺産と県内の幕末ゆかりの場所を結ぶルートの形成や、世界遺産を抱える他県と連携した広域周遊を促進するとともに、美祢の石灰岩の鉱山等を巡る産業観光ツアーの拡大を図ってまいります。

県としては、こうした取組により、観光地としての魅力の向上や、住民の地域への誇りと愛着に根差したおもてなしの実現などを図り、地元市や他県と連携しながら、ジオパークや世界遺産を活用した観光振興を進めていきます。

(2) 中四国や九州との広域連携について

【小泉県議】

去る8月31日、鹿児島、山口、高知、佐賀の各県知事及び観光団体代表者が一堂に会し、平成30年の明治維新150年に向けた、4県連携による広域観光プロジェクト「平成の薩長土肥連合」の盟約締結式が実施された。

また、瀬戸内7県においては、瀬戸内が国内外の多くの人から選ばれる地域となるため、瀬戸内全体のコンセプトや目指す姿を掲げ、「一般社団法人せとうち観光推進機構」を平成28年4月を目途に設立することとしている。



これから、「平成の薩長土肥連合」における共通のロゴマークを用いた観光PRやモデルコースの設定、「瀬戸内ブランド推進連合」における広域観光周遊ルートの形成や共同プロモーションなど、中四国や九州各地との連携した取組を進めることが重要であると考えている。

例えば、こうした明治維新の偉業や瀬戸内の多島美など、地域の特性を活かしながら、中四国や九州との広域連携をどのように進めようとしているのかお伺いする。

戦略的プロジェクトを展開

【村岡知事】

小泉議員の観光の振興に関する数点の御質問のうち、私からは、中四国や九州との広域連携についてのお尋ねにお答えします。

私は、先月、明治維新ゆかりの4県による「平成の薩長土肥連合」の盟約を締結し、平成30年の明治維新150年に向けて、幕末維新をテーマとする広域観光ルートの形成や、4県が有する歴史的観光素材をストーリーで繋ぎ発信する共同イベントなど、戦略的プロジェクトを展開していくことについて、各県知事と合意したところです。

また、薩長土肥連合に関わる連携の動きは、県や県観光連盟のみならず、観光分野以外の民間団体においても芽生えつつあ

り、私は、今後、このような民間団体における主体的な連携を幅広く促し、相互に送客する取組など確実な誘客に繋げていきます。

さらに、瀬戸内7県で構成する「瀬戸内ブランド推進連合」を発展改組して来年度設立する、お示しの「せとうち観光推進機構」において、クルーズやアート、サイクリングなどのテーマ別に、強力なプロモーションを展開するとともに、魅力ある観光サービスの開発を誘導することとしており、こうした多島美を活かした取組により、瀬戸内への来訪意欲を高めることはもとより、本県における新たなテーマツーリズムの創出や定着にも繋げていきます。

私は、これまでの、中四国や九州各県との地理的な繋がりを

活かした連携に加え、こうしたテーマやストーリーに根差した新たな連携の取組を強力に推進することにより、国内外からの観光客の流れを創出し、観光需要の拡大に全力で取り組んでまい

ります。

その他の御質問につきましては、関係参与員よりお答え申し上げます。

5 防災対策について

【小泉県議】

防災の基本は自助・共助・公助であるが、共助については、「防災隣組」など身近な住民による、いわゆる「近助」により、防災力の向上を図ることが大切である。

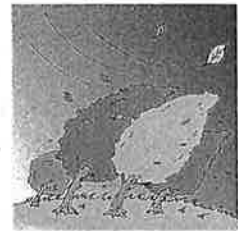
災害の危機が差し迫ったとき、高齢化で要援護者が増える一方の地域で自助を求めることは、なかなか難しい。

そこで、住民同士でいざというときの避難に備えてグループ

を作り、一緒に行動するという仕組みが防災隣組である。

災害から「犠牲者ゼロ」にするためには、地域住民同士の連携が大切である。

そこで、地域防災力の充実強化に、どのように取り組むのか伺う。



災害に強い県づくり

【村岡知事】

防災対策についてのお尋ねにお答えします。

地域の実情に応じた、より実効性のある自主防災活動が行われるよう、専門的な知識・技能を有する自主防災アドバイザーの派遣や研修会の開催等を通じて、自主防災組織の活性化に取り組んでまいります。

さらに、地域全体での防災力を高めていくため、昨年度から、自主防災組織に加え、学校や企業など、地域の多様な主体が参画した防災体制づくりを進めており、その一環として、今年度は、いざという時に、地域の各関係者が取るべき行動を時系列で具

体的に決めておく「タイムライン」をモデル的に作成するなど、地域ぐるみによる防災活動を、一層推進することとしています。

また、こうした取組を進めていく上では、県民一人ひとりの防災意識の醸成も欠かせないことから、シンポジウムの開催や防災訓練の実施等を通じて、防災知識の普及啓発を図ってまいります。

県としては、「災害に強い県づくり」に向け、地域の実情に応じた様々な取組が進むよう、引き続き、市町と連携し、地域防災の充実強化に取り組んでまいります。

6 電気柵の安全対策について

【小泉県議】

今年7月、静岡県で電気柵に感電し、2名の方が亡くなるという痛ましい事故が発生した。

国においても、事故発生後に電気柵の緊急点検を実施し、本県でも、点検を行った1,808箇所の内、約20%に当たる354箇所の不適切事例が見つかった。

電気柵は過疎化が進み、担い手が減少している農村には欠かせないし、特に夜間などの見回りが困難な時の被害防止策とし

て非常に有効である。

今一度、電気柵の安全管理を徹底し、適切に使用することで、農作物等の鳥獣被害を軽減し、農家の耕作意欲を維持していかなくてはならない。

そこで、今回の国の調査結果をふまえ、鳥獣被害防止のため、電気柵の安全対策に今後どのように取り組むのか伺う。



適切な安全対策の徹底を図る

【村岡知事】

電気柵の安全策のお尋ねにお答えをいたします。

本県では、野生鳥獣による農林業被害が依然として深刻な状況にあり、捕獲と防護の両面から被害防止対策に積極的に取り組んでいるところです。

お尋ねの電気柵については、イノシシやシカの防護策としての効果が高く、安価で、農林業自らが設置できることから、市町・関係団体と連携し、その設置を支援しているところです。

こうした中、今回の死傷事故を受け、県としては、直ちに、電気柵設置者に対し、適切な安全対策を徹底するよう改めて注意喚起を行ったところです。また、市町を通じ、電気柵の実態を調査した結果、重大事故につながる事例はなかったものの、危険表示板等の不備が見受けられたことから、速やかに改善するよう設置者

へ指導を行ったところであり、現在では改善が図られております。

県としては、今後とも、市町等と緊密に連携し、電気柵の設置・管理を行う農林業者等に対し、春や秋の農作業安全運動期間や、鳥獣被害対策研修会など、様々な機会を捉え、適切な安全対策の徹底を図ってまいります。



◎ 2016

山口県議会議員 小泉 利治 活動報告



自治会清掃活動



地元自治会総会



健康チェックと体力測定の間合設営

地域活動



上宇部校区夏祭り



消防訓練



地元盆踊り大会準備



敬老会(上宇部校区)



地元自治会ラジオ体操



健康かみうべ21 総会で説明



ラジオ体操会場



老健施設訪問



ドウリン大会



コミュニティー理事会



道路の拡幅(宇部市)



県道陥没舗装復旧現場(長門市油谷町)



道路陥没現場(宇部市)



海岸ゴミ対策(長門市)

現場第一(地域サポート)



空家対策



道路改修(山口市阿知須町)



側溝改修



市民相談受理(長門市)



道路の拡幅と舗装



長門市油谷町



水漏れ対策



地域の点検作業



長門市油谷町



青年と語り(美祿市)



排水路点検(恩田)



水漏れ調査(宇部市)

◎ 2016

山口県議会議員 小泉 利治 活動報告



長野県庁

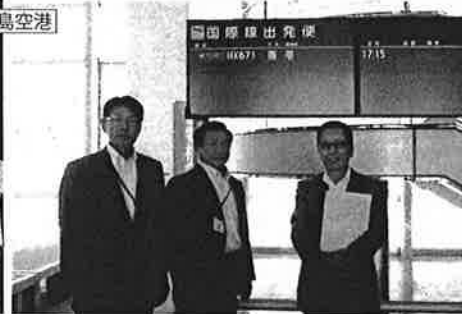


高知県庁

行政視察活動



鹿児島空港



高知県庁



徳島県神山町



子ども食堂(宇部市)



静岡県庁



県立岩国商業高等学校



山口県議会議員 小泉 利治 活動報告

2016 ⑨



⑩ 2018

山口県議会議員 小泉 利治 活動報告



環境福祉常任委員会

議会活動



「おんこさん」見市萩

山口県議会議員=小泉利治・石丸典子 萩市議会議員=佐々木武夫



小泉利治

障がい者福祉サービス協議会



小泉利治

山口県議会議員 小泉 利治 活動報告

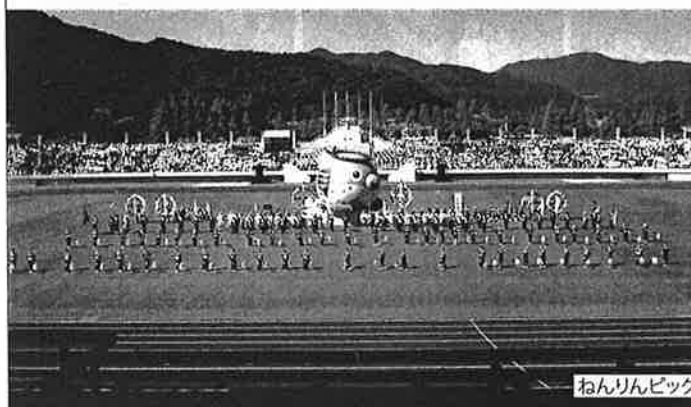
2016 ⑪



全国都道府県議員研究大会(東京)



都道府県議会議員
研究交流大会



ねんりんピック開会式(山口市)



世界スカウトジャンボリー大会

世界スカウトジャンボリー大会



文化フォーラム

宇部市日韓親善協会



コンクリート診断士会中国5県会議(国際ホテル)



川崎美術館開館パーティー



議会経歴 小泉利治事務所のご案内

● 議員経歴 ●

—— 宇部市議会議員歴 ——

- ・1期 平成3年5月1日～平成7年4月30日
- ・2期 平成7年5月1日～平成11年4月1日

—— 山口県議会議員歴 ——

- ・1期 平成11年4月30日～平成15年4月29日
- ・2期 平成15年4月30日～平成19年4月29日
- ・3期 平成19年4月30日～平成23年4月29日
- ・4期 平成23年4月30日～平成27年4月29日
- ・5期 平成27年4月30日～現在

—— 山口県議会委員会歴 ——

◆ 常任委員会

- ・農林水産委員会委員(平成11年5月12日～平成13年5月14日)
- ・商工労働委員会委員(平成13年5月14日～平成15年4月29日)
- ・商工労働委員会委員(平成15年5月9日～平成17年5月13日)
- ・商工労働委員会委員(平成17年5月13日～平成19年4月29日)
- ・文教警察委員会委員(平成19年5月10日～平成19年5月13日)
- ・総務政策委員会委員長(同委員)(平成21年5月13日～平成23年4月29日)
- ・総務政策委員会委員(同委員)(平成23年5月12日～平成23年5月14日)
- ・総務政策委員会委員(同委員)(平成25年4月1日～平成25年5月14日)
- ・土木建築委員会委員(同委員)(平成25年5月14日～平成27年5月14日)
- ・環境福祉委員会委員(平成27年5月10日～現在)

■ プロフィール

- ◎昭和26年11月12日生まれ
- ◎近畿大学短期大学部卒業
- ◎平成 3年 クボタ建機(株)会社員から宇部市議会議員初当選
(以来2期務める)
- ◎平成11年 山口県議会議員初当選(現在5期目)
- ◎現在/公明党山口県本部副代表
公明党山口県本部組織活動委員長
公明党山口総支部 顧問
- ◎家族/妻、1男2女の5人家族

◆ 特別委員会等

- ・豊かな社会づくり対策調査特別委員会委員
(平成11年7月9日～平成13年2月27日)
- ・決算特別委員会委員(平成11年12月17日～平成12年2月29日)
- ・企業会計決算特別委員会委員(平成12年9月22日～平成12年12月15日)
- ・やまぐち子供未来調査特別委員会委員
(平成13年6月29日～平成15年2月26日)
- ・企業会計決算特別委員会委員
(平成13年10月19日～平成13年12月14日)
- ・企業会計決算特別委員会委員(平成14年10月4日～平成14年12月19日)
- ・企業会計決算特別委員会委員長(同委員)
(平成15年10月10日～平成15年12月12日)
- ・暮らしの安心・安全強化対策特別委員会委員
(平成19年7月6日～平成20年12月19日)
- ・決算特別委員会委員(平成20年10月10日～平成20年12月19日)
- ・企業会計決算特別委員会委員(平成21年10月9日～平成21年12月18日)
- ・決算特別委員会委員(平成22年10月8日～平成22年12月17日)
- ・人口減少・地域活力維持対策特別委員会委員
(平成25年10月4日～平成26年4月30日)
- ・決算特別委員会委員(平成25年10月4日～現在)

—— 附属機関等の役員歴(山口県議会) ——

- ・山口県流通情報協議会顧問(平成11年6月12日～平成13年6月11日)
- ・(財)山口県漁業被害救済基金理事(平成11年9月16日～平成13年5月31日)
- ・山口県企業立地促進補助金審査会委員(平成13年7月1日～平成15年6月30日)
- ・山口県観光審議会委員(平成15年5月26日～平成19年4月29日)
- ・山口県地方港湾審議会委員(平成17年5月26日～平成21年5月13日)
- ・財団法人山口県振興財団委員(平成21年5月25日～平成24年4月30日)
- ・おいでませ!山口国体・山口大会実行委員会常任委員
(平成21年5月25日～平成23年4月29日)
- ・山口県都市計画審議員(平成27年5月～現在)

小泉 利治 事務所のご案内 ● 連絡先 ●

- | | | | |
|--------|--|----------|--------------|
| ■ 事務所名 | 山口県議会議員小泉利治事務所
E-mail: koizumi-ube@herb.ocn.ne.jp | ■ 電話番号 | 0836-37-6023 |
| ■ 所在地 | 〒755-0073 山口県宇部市中尾1丁目7番8号 | ■ FAX 番号 | 0836-37-6023 |
| | | ■ 代表者 | 小泉 利治 |

平成28年2月定例議会一般質問要旨

1 地方創生について

【小泉県議】

国の28年度当初予算において、地方創生の深化のための新型交付金である「地方創生推進交付金」が盛り込まれた。この交付金は、提案する事業内容に応じて国からの交付金額が変わり、自治体の創意が厳格に問われることとなる。「地方創生推進交付金」は地方創生の取組を後押しする重要な財源であり、県として可能な限り交付金の確保を図るべきと考えるが、今後どのように取り組んでいかれるか伺



【村岡知事】

小泉議員の代表質問にお答えします。

最初に、地方創生についてのお尋ねのうち、まず、地方創生推進交付金についてです。

地方創生を実現していくためには、地方が自主的、主体的な取組を継続的に進めていくことが不可欠であり、そのための安定した財源となる「新型交付金」について、全国知事会等を通じて、国に対しその創設を強く求めてきたところです。

こうした中、国の来年度予算において、地方創生の取組を深化させるための「地方創生推進交付金」が措置され、地方の実情に応じた取組を後押ししていけるよう、複数年度にわたっての支援が講じられることとなり、私は、地方創生の更なる推進のための貴重な財源として積極的に活用していきたいと考えています。

今後、この交付金の交付に当たっては、官民協働や地域間連携等による先駆性のある取組、既存事業の隘路を打開する取組などの観点から、国において、地方の取組内容を見極めていくこととされています。

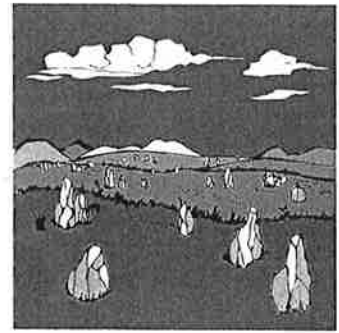
私としては、交付金の具体的な制度の詳細が明らかになり次第、速やかに対応できるよう、魅力ある雇用の場づくりや子育て環境の整備などに関し、具体的な施策内容について鋭意検討を重ね、交付金の最大限の確保に努めてまいります。

次に、地方創生の要となる「ひとの創生」についてです。

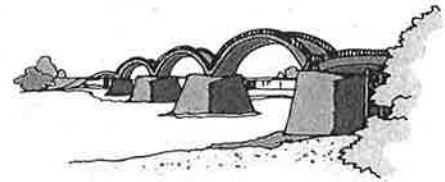
地方創生は、「しごと」が「ひと」を、その「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、新たな「ひと」の流れにより「まち」に活力を取り戻していくことを目指すものであり、私としても、「ひとの創生」は地方創生の要になるものと考えています。

う。

また、地方創生の推進においては、地域の担い手である「ひと」が要であり、中心でなければならない。本県の総合戦略においても、雇用の創出、女性の活躍促進、若者の子育て支援など「ひと」に焦点を当てた分野を重点的に取り組むことが重要である。県は総合戦略を推進するに当たり、その成功の要となる「ひとの創生」にどのように取り組んでいくのか、伺う。



こうした考えを基本にして、昨年10月に策定した



「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、若者を中心にして、県内に人をとどめ、呼び込んでいけるよう、産業を振興し、魅力ある雇用の場を創出するとともに、産業や地域を支える人材の定着や移住を促進することにより、新たな地域活力の創出につなげていくこととしています。

来年度は、地方創生を本格始動する重要な年であり、総合戦略に即し、企業の技術力を生かした新事業への支援や戦略的な企業誘致、女性や若者の能力を発揮できる創業支援の強化等による新たな仕事づくりとともに、地域住民の積極的な参加による教育や子育て環境の充実などに重点的に取り組んでいきたいと考えています。

私は、お示しのような幸福を実感できる暮らしを実現していくために、県民誰もががはつらつと活躍でき、安心して生活を営み、子どもを産み育てられる地域社会を創り出していけるよう、「ひとの創生」を重視しながら、地方創生の実現に全力で取り組んでまいります。

【小泉県議】

自公連立政権が進める経済政策によって、雇用環境も大きく改善し経済の好循環が生まれ、大企業を中心に業績の改善が続いている。この恩恵が中小企業にも行き渡るようにしたいものである。そのためには、私は、中小企業が賃上げしやすい環境を作りだすことが重要であると考えている。

その一環として、政府は1月から大企業と中小企業との取引の実態調査を開始し、下請け等中小企業の取引実態を把握し、取引条件の改善に向けた対策を進めることとし

中小企業対策について

ている。

大企業は、今回の調査にしっかり協力するとともに、政労使会議の合意に従い、中小企業との取引条件の改善に向けた取組を強めていってほしい。

一方、中小企業においても、経営革新や新事業展開など、自ら稼ぎ出していく成長戦略が求められていると思う。

県におかれては、これまでも中小企業の成長支援に取り組まれてきたが、山口県の活力を創出し、本県発の地方創

生を成し遂げていくためには、中小企業の成長支援に向けた取組の充実が求められている。

そこで、中小・小規模企業が業績を伸ばし、自公連立政権が進める経済政策の恩恵が行き渡るよう、中小企業支援にどのように取り組んでいかれるのか伺います。



【村岡知事】

次に、中小企業対策についてのお尋ねにお答えします。

地域経済の好循環や雇用の場の創出を図るため、国においては、企業の「稼ぐ力」の向上や経営体制の改善・人材確保など、地方創生の深化に向けた政策が進められているところだ。

こうした中、本県においても、中小企業は、県内企業の大多数を占め、また、雇用の大きな受け皿として地域の活力源となっていることから、その経営基盤を強化するとともに、経営革新による成長を一層促進するなど、国の動きに呼応した積極的な取組が重要です。

まず、経営基盤の強化については、「よろず支援拠点」を活用した経営課題の解決や産業技術センターによる技術支援などを通じた企業の技術・経営両面にわたるレベルアップはもとより、企業間取引の活性化が必要であることから、お示しの大企業と中小企業との取引条件の改善についても、やまぐち産業振興財団と連携して取り組んでいるところだ。

さらに、個々の中小企業が持つ強みを活かした特長ある製品などの販路開拓等を支援するため、受注機会の拡大に向けた商談会を開催するとともに、県内外の優良企業への取引の紹介・あっせんを行うなど、中小企業の経営基盤の強化を図っているところだ。

また、中小企業の成長促進に向けては、専任のコーディネータが企業に寄り添いながら切れ目のない支援を行う「山口型」ハンズオン支援に取り組むとともに、専門的な技術や知識等を持つプロフェッショナル人材の県内企業におけるニーズを掘り起こし、首都圏等からの地方還流を促

進する取組を全国に先駆けて行っているところだ。

来年度は、これまでの成果を生かし、国の地方創生加速化交付金や「戦略産業雇用創造プロジェクト」を活用し、「山口型」ハンズオン支援の手法を、ものづくりや情報サービスなど、全ての業種を対象として支援内容の拡充を行うなど、産業振興と雇用創造を一体的に推進する全国トップ水準の支援基盤を構築することとしています。

また、プロフェッショナル人材についても、精力的なマッチングを進め地方への還流を引き続き促進するなど、中小企業の成長段階やニーズ等に応じた取組を総合的に実施することとしています。

私は、中小・小規模企業がさらに業績を伸ばし、地域経済において自立的な好循環が生まれ出されることにより、国の経済政策の効果が実感できるよう、「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた「産業振興による雇用の創出」に向け、中小企業の経営基盤の強化や成長支援に積極的に取り組んでまいります。



一億総活躍社会に向けて

(1) 子育て支援について

【小泉県議】

子どもの貧困は、子ども本人だけでなく社会全体にとっ

ても大きな損失をもたらす。

貧困の連鎖を断ち切り、子供の将来が、生まれ育った環

境に左右されない社会を作ることが大切である。

県では、子どもの生活支援事業を実施し、今後、市町において子どもの居場所づくりを推進するに当たっての基盤整備を行うとしている。

宇部市で実施されている、生活に困窮する子どもたちに食事を提供する県下初の「ゆうやけ子ども食堂」を視察した。ここでは孤食や食生活の改善のため、ボランティアの協力を得て生活指導など、ひとり親家庭の支援を地域で行っていた。

子どもの貧困は、県の未来を左右する重要な課題でも

【村岡知事】

次に、一億総活躍社会についての2点のお尋ねにお答えします。

まず、ひとり親家庭に対する支援についてです。

子どもの将来が、その生まれ育った環境によって左右されることのない社会の実現に向けて、貧困が世代を超えて連鎖することがないように、子どもの貧困対策を強化することは極めて重要であると考えています。

とりわけ、雇用・経済面で厳しい状況にある、ひとり親家庭については、本年度末を目途に、現行の「山口県母子家庭等自立促進計画」を改定し、「就業による自立の促進」、「生活支援策の推進」、「子育て支援の充実」に重点的に取り組み、支援対策を強化することとしています。

具体的には、まず「就業による自立の促進」については、ひとり親家庭が社会的に自立した生活を送ることができるよう、新たに就業支援専門員を、母子家庭等就業・自立支援センターに配置をして、総合相談体制の充実を図ることとしています。

こうした取組に加え、看護師など就職に有利な資格を取得するための貸付制度や、より良い条件での就職等に向けた親と子の学び直しを支援する助成制度を推進、創設するなど、相談から就業に至るまでの切れ目のない支援体制を強化することとしています。

2) 介護の充実について

【小泉県議】

介護ニーズの高まりに対し、質の高いサービスを提供する上で、介護職員の処遇改善や人材確保は重要な課題である。

国では、介護離職ゼロに向け、2020年代初頭を目標に50万分の介護施設・在宅サービス等を確保するとされており、このために必要とされる介護人材は約25万人とも推計されている。

介護人材が不足している理由には、採用が困難であることや離職率が高いこと、介護の仕事が大変であるという

あることから、支援を強化すべきではないか。

とりわけ、ひとり親家庭は、子育てや就業などにおいて、悩みや不安を抱える方が大半であり、社会で支援する取組みが重要と考える。

そこでお尋ねするが、県では子どもの貧困を招かないよう、ひとり親家庭に対する支援にどのように取り組むのか、伺う。



次に、「生活支援策の推進」については、経済的な基盤や生活基盤を安定させることが重要であることから、児童扶養手当や保育料の軽減制度を大幅に拡充することにより、経済的支援の充実を図ってまいります。

また、子どもの生活向上のため、放課後児童クラブ等の終了後に、悩み相談を行いつつ、基本的な生活習慣の習得支援・学習支援・食事の提供等を行う、子どもの居場所に新たにに取り組むこととしています。

さらに、「子育て支援の充実」に向けては、子どもが健やかに成長するよう、安心して子育てできる環境づくりを進めることが重要であることから、学習ボランティア派遣等による子どもの学習支援を拡充するとともに、問題を抱え孤立した家庭の親が安心して家庭教育ができるよう、教育・保健・福祉分野に関わる地域の人材で構成する家庭教育支援チームによる支援体制の構築を進めることとしています。

私は、本県の未来を担う子どもたちが、夢と希望を持って成長していけるよう、今後、市町や関係機関・団体等と連携し、ひとり親家庭の自立や生活の安定・向上に努めてまいります。



イメージから就職を希望する方が比較的少ないことなどが挙げられると言われている。

そこで、国では、人材確保策の柱として、「離職した介護職員を介護現場に呼び戻す」とことや「新規参入促進」、「現場で働く介護人材の定着促進」を掲げて取り組むこととされている。

全国に先駆けて高齢化が進む本県においても、こうし

国の動きに呼応し、積極的に介護人材の確保に取り組んでももらいたいと考えるが、今後見込まれる介護需要を踏ま

え、介護人材の確保にどのように取り組まれるのか伺う。

【村岡知事】

次に、介護の充実についてです。

高齢化の更なる進行や介護ニーズの増大に伴い、団塊の世代が75歳以上となる2025年度には、本県においても、約4千人の介護人材の不足が見込まれており、介護人材の確保は喫緊の課題となっています。

このため、私は、「第五次やまぐち高齢者プラン」において、今後必要となる介護サービスの見込量を設定し、計画的にサービス提供体制の整備を進めることとし、介護人材の確保についても総合的な対策に取り組んでいるところです。

こうした中、お示しのとおり、国においては、一億総活躍社会の実現に向け、「介護離職ゼロ」を新・三本の矢の目標の一つに位置付け、介護サービス基盤の確保や介護人材の確保・育成等に係る緊急対策が、補正予算で措置されたところです。

私は、こうした国の取組を積極的に活用し、2月補正予算と新年度予算において、介護のイメージアップや多様な人材の確保、職場への定着促進に向け、取組の充実・強化を図ることとしています。

まず、介護のイメージアップについては、小中高生を対象とした職場体験や、地域住民向けの理解促進セミナーの開催支援を引き続き実施してまいります。

また、新たに、介護分野でいきいきと働く人物や、やりがいのある仕事の様子等を紹介するテレビ番組・CMの制作、介護の日に合わせた全県的なイベントの開催にも取り組み、広く介護の魅力を訴えてまいります。

次に、多様な人材の確保に向け、介護福祉士修学資金について、従来の学費や入学準備金等に加え、国家試験対

策費用を貸付対象とするなど、制度の拡充を図るとともに、新たに、ボランティア等の社会参加活動を行っている、地域の中高齢者を対象に、介護入門研修等を実施するなど、介護人材の裾野を拓げる取組を進めてまいります。

また、離職した介護職員等に対しては、介護に関する知識や技術を再確認するための研修を実施するとともに、新たに、再就職に際し必要となる転居費用等の再就職準備金の貸付制度を創設し、円滑な職場復帰を支援することとしています。

さらに、職場への定着促進に向け、福祉人材センターに就労に関する専門的な相談に対応する支援員を新たに配置するとともに、職員のモチベーションを高めるための合同入職式や若手職員に対する表彰の実施、研修を受講する際の代替職員の雇用助成等により、職員の働きやすい環境づくりをさらに進めます。

私は、今後とも、人材確保に係る取組の実効性を高めるために今年度設置した、山口県介護人材確保対策協議会での意見等も踏まえ、市町や関係団体等とも連携し、介護ニーズに的確に対応できるよう、介護人材の確保に積極的に取り組んでまいります。



第10次山口県交通安全計画に

【小泉県議】

県では、平成23年に第9次山口県交通安全計画を策定し、「交通安全県やまぐち」を目指して取組を進め、交通事故発生件数、死者数とも減少し、目標は達成された。

しかし、平成27年は、人身事故件数は16年連続減であるが、死者数は64人と前年より6人増加しており、死者全体に占める高齢者の割合が7割近くに達している。

背景に、急速な高齢化があり、要は高齢者がいかに事故に遭わないようにするかである。

対策として、地域での安全指導や運転免許証の返納の呼びかけ、認知症検査の強化がさらに必要であるが、従来

の取組だけでは十二分とは言えない。

事故を避けるには、住宅地周辺を安心して歩ける環境にすることや、生活道路での取締りの強化など、関係機関が一層連携を強化した総合的な取組が必要である。





第10次交通安全計画では、高齢者事故を減らし、死者数の減少を目指す内容にしてもらいたい。

高齢者の交通安全対策について、新たな交通安全計画にどのように盛り込まれ、今後取り組まれるのか、計画の策定母体

である山口県交通安全対策会議の会長としての知事の所見を伺う。

【村岡知事】

次に、「第10次山口県交通安全計画」についてのお尋ねにお答えします。

交通事故のない社会の実現は県民すべての願いであり、県では、「山口県交通安全計画」に基づき、関係機関・団体と一体となって、総合的、計画的に交通事故防止対策に取り組んでいるところです。

この結果、お示しのように人身事故発生件数は年々減少してきましたが、交通事故死者数に占める高齢者の割合が高まってきており、また今後は、高齢者ドライバーによる事故の増加も懸念されています。

こうした状況を踏まえ、来年度から5年間を計画期間とする「第10次交通安全計画」では、県全体の死者数を現計画の77人から50人以下に、人口10万人当たりの人身事故発生件数を450件から350件以下にする数値目標を設定し、より一層対策を推進することとしています。特に、高齢者の交通事故防止対策を重点課題の一つとして位置づけ、歩行者とドライバー双方の観点から高齢者の安全対策を推進したいと考えています。

このうち、まず歩行者対策としては、幅の広い歩道の整備や、歩道の段差・傾斜の改善等によるバリアフリー化、高齢者が余裕をもって横断できるよう信号機の横断時間の延長など、交通環境の整備に取り組みます。

また、自宅周辺での死亡事故が多いことから、事故現場付近の高齢者を対象とした実地指導や、家庭訪問による本人・家族への注意喚起、反射材着用の促進など、身近な交通安全教育を重点的に実施するとともに、一般ドライバーに対しても、様々な機会を活用し、高齢者事故の特徴などについて注意喚起を図ります。

さらに、生活道路を中心に、歩行者にとって危険性の高い悪質な交通違反について指導取締りを強化します。

一方、高齢ドライバー対策では、加齢に伴う身体機能や判断能力の低下について自覚を促すための実技講習を実施するとともに、認知症の専門医と連携し、本人・家族の理解を得ながら運転免許証の自主返納の促進を図ることとしています。

また、高齢ドライバーが識別しやすく安全に運転できるよう、信号機のLED化や鮮明な道路標識への切り替えなどを推進していきます。

私は、こうしたきめ細かで総合的な対策を新たに交通安全計画に盛り込み、関係機関・団体と一層連携しながら、着実に推進することにより、県民の皆様が安心・安全を実感できる環境づくりに積極的に取り組んでまいります。



健康づくりのためのたばこ対策について

【小泉県議】

県では、健康寿命の延伸を目的に、「健康やまぐち21計画(第2次)」を策定し、生活習慣病の改善及び取り巻く環境の整備など、計画を推進している。

県民の死因のトップはがん、その主な原因は喫煙によるものであることから、たばこ対策は、がん対策の中でも優先順位が第一位に位置づけられると考える。

県は「山口県たばこ対策ガイドライン」に沿って、たばこによる害のない社会の実現に向けて、受動喫煙防止、喫煙防止、禁煙支援に取り組んでいるので、3点について伺う。

①まず、受動喫煙防止について、屋内禁煙は多くの公共施設で実施されてきた。屋外に、喫煙場所を設置する場合は、通路、出入口等から概ね10m以上離すことが必要である。これまでの取組と実績について伺う。併せて、公共的

な空間における受動喫煙対策に、どのように取り組むのか伺う。

②次に、喫煙防止について「たばこを吸い始めたくない」意識・態度の向上や、子どもたちへの喫煙防止教育も必要である。たばこの健康への影響についての知識と、たばこの害のない環境が重要であり、保護者をはじめ周囲の協力が必要である。喫煙防止教育にどのように取り組むのか伺う。

③最後に、禁煙支援について、禁煙成功者を増やすことが重要であり、関係機関が連携した禁煙支援の実施、禁煙外来の普及・情報提供、禁煙を勧める媒体の開発、禁煙希望者に対して適切な禁煙支援を提供することが必要である。禁煙成功者を増やす禁煙支援にどのように取り組む





のか何う。

【村岡知事】

次に健康づくりのためのたばこ対策についてのお尋ねにお答えします。

すべての県民が健康でいきい

きと生活できる活力ある社会を実現するためには、健康寿命の延伸に向けて、健康づくり対策を充実させることが重要です。

このため、私は、「チャレンジプラン」の重点施策に「健康づくりの推進」を掲げ、生活習慣病の発症・重症化予防などに積極的に取り組んでいるところです。

とりわけ、喫煙は、がん、心臓病など多くの生活習慣病と深く関連し、喫煙者だけでなく、まわりの非喫煙者の健康にも影響を及ぼすことから、たばこ対策は、健康づくりを進める上で重要であると考えています。

このため、県では、お示しのとおり、「山口県たばこ対策ガイドライン」に基づき、受動喫煙防止、喫煙防止、禁煙支援を三つの柱として、たばこ対策に取り組んでいるところです。

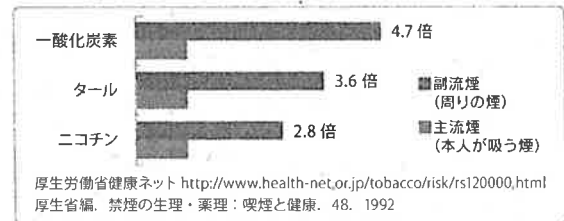
まっていることから、県としては、今後も、多くの方が利用する施設については、施設の管理者に対して、基準を満たすよう働きかけるとともに、たばこ対策のリーフレットや施設に掲示する禁煙・分煙ステッカーを配布するなど、受動喫煙防止対策に取り組んでまいります。

次に、喫煙防止については、児童・生徒やその保護者が、たばこの害について正しい知識を持つための資料の配布や、薬剤師等による喫煙防止の出前講座により啓発に努めているところです。

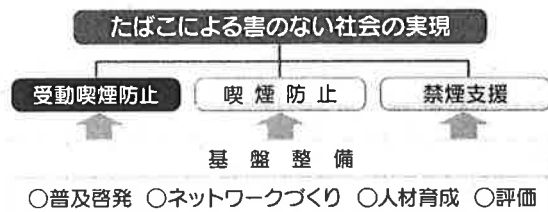
特に、大人に比べて健康被害を受けやすい乳幼児の受動喫煙を防止するため、新たにリーフレットを作成して、幼稚園、保育所で保護者に配布するなど、取組を強化したところであり、引き続き、子どもとその保護者を中心とした、喫煙防止のための情報提供や健康教育の充実に努めてまいります。

たばこの煙は主流煙より“副流煙の方が有害”

主流煙の濃度を1とした場合の副流煙の濃度



《 たばこ対策の体系図 》



まず、受動喫煙防止については、多くの方が利用する施設の種別毎に、施設内禁煙、敷地内禁煙などの基準を設けるとともに、屋外に喫煙場所を設置する場合に、出入口等から一定の距離を離す、いわゆる「10mルール」を定め、施設管理者に受動喫煙防止対策を求めてきたところです。

屋外喫煙場所設置の際の「10mルール」

たばこの煙による害は、喫煙場所から離れた空間まで影響を及ぼすことが知られています。このため、屋外に喫煙場所を設置する場合は、通路、出入口、子どものいる空間等から“おおむね10m以上”離すことが必要です。

（参考）10mの根拠
「屋外における受動喫煙防止に関する日本気候学会の見解と提言（平成18年3月）」によると、無風という理想状態で、ひとりの喫煙者によるタバコ煙の到達範囲は直径14メートルの円筒内であることから、これを参考に検討委員会では「結果 誘致の喫煙者が利用する」となどを考え、換算的な数値として10mを規定

現在、施設の種別毎の基準を満たしているのは、学校、県や市町の庁舎の約7割、その他の施設では約4割にとど



2016

山口県議会議員 小泉利治 活動報告



1月活動フォトニュース



嵯峨御流初生け(光市)

校区ラジオ体操



宇部校区新年互礼会

宇部市出初式

高校生議会



新春懇談会

久保田市長と懇談

大臣表彰 祝賀会



上宇部校区文化祭



2月活動フォトニュース



村岡知事と



上宇部校区研修会



平口環境副大臣と(大竹市)



うまもんつけの実演(岩国市)



代表質問(議事堂)



禁煙ジャーナル編集長と(東京)



林元農水大臣新春の集い(国際ホテル宇部)



自治会役員会



市民相談現場

⑩ 2016

山口県知事 小泉利治

祝 市道立熊沖田線 開通



3月活動フォトニュース



美祿市河川対策



宇部高等学校卒業式



小泉利治



市民相談



上宇部中学校生徒と清掃活動(福原公園)



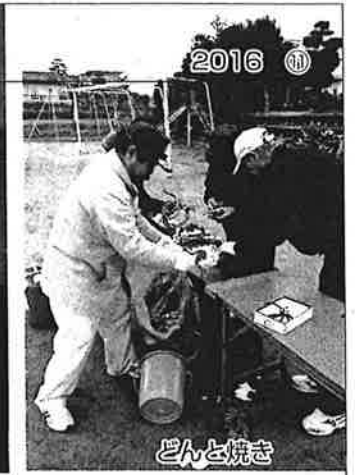
東海村視察



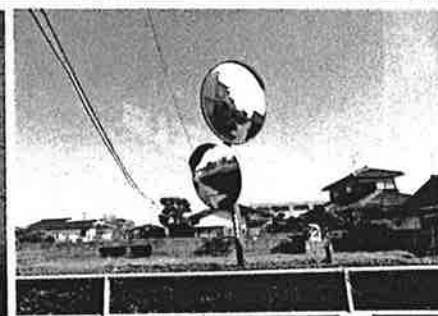
衆議院会館にて研修

山口県議会議員 小泉 利治 活動報告

2016 ⑩



地域サポート 現場第一主義貫く



2016/3/28 15:37

© 2016

山口県議会議員 小泉 利治 活動報告



街灯の点検 (西宇部)



樹木の伐採要望現場 (西岬波)



信号機の改良 (上宇部)

地域サポート 現場第一主義貫く



健康チェック(上宇部ふれあいセンター)



学べるランチに参加



防災訓練の後 (上宇部小学校)



鳥獣被害対策 (楠・万倉)



ガードレールの設置



上宇部中学校卒業式



中学生徒の清掃活動 (福原公園)



生活道路の改修



歩道の設置 (山陽小野田市)